

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【公開番号】特開2011-105863(P2011-105863A)

【公開日】平成23年6月2日(2011.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2011-022

【出願番号】特願2009-262958(P2009-262958)

【国際特許分類】

C 08 J 9/04 (2006.01)

C 08 L 23/10 (2006.01)

B 32 B 5/18 (2006.01)

B 32 B 27/32 (2006.01)

【F I】

C 08 J 9/04 101

C 08 J 9/04 CES

C 08 L 23/10

B 32 B 5/18

B 32 B 27/32 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年10月22日(2013.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ポリプロピレン系樹脂成分を主成分とするポリプロピレン系樹脂組成物が押出し機で押出し発泡されて形成された樹脂発泡シートであって、

前記ポリプロピレン系樹脂組成物には、含有されるポリマー成分に占める割合が20質量%以上50質量%未満となるように高溶融張力ポリプロピレン樹脂が含有されていることを特徴とする樹脂発泡シート。

【請求項2】

前記高溶融張力ポリプロピレン樹脂が、化学架橋によって形成された自由末端長鎖分岐を有している請求項1記載の樹脂発泡シート。

【請求項3】

表面に非発泡樹脂層を備え、前記ポリプロピレン系樹脂組成物の押出し発泡によって形成された発泡樹脂層と前記非発泡樹脂層とが積層された積層構造を有しており、非イオン性帶電防止剤を含有するポリプロピレン系樹脂組成物によって前記非発泡樹脂層が形成されている請求項1又は2記載の樹脂発泡シート。

【請求項4】

加熱された状態で成形加工が施され、しかも、前記非発泡樹脂層を成形型に接触させて前記成形加工が施される用途に用いられる請求項3記載の樹脂発泡シート。